

## <学校給食の充実と食育の推進>

団体・学校の特徴	本校は、地域と共に子供たちを育てる思いから、学校地域教育目標の具現化に向けて、いろは遊学館・いろは遊学図書館と学社融合の教育を展開している。				
所在地（市町村名）	志木市	会員数又は児童生徒数	802名	活動期間	6年7か月
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食べることは生きること」であり、生きることは、いろいろな人たちの協力作業で行われるのだという認識を育てる。</li> <li>・みんなで気持ちよく楽しく食べることを通して、食べる意欲を育て、自らの力で苦手をのりこえ食べる楽しさを身に付ける。</li> <li>・自分の食べ方や身体と食物との関わり等についての科学的な捉え方を育て、自ら健康な身体づくりをしようとする意欲を育てる。</li> </ul>				

### 特徴的な活動

本校は偏食や食体験の乏しさ、生活リズムの乱れ等に課題があった。そこで、家庭や地域と連携し、体験を多く取り入れ、食の大切さを実生活に生かしていくことを大切に進めてきた。

- ・人とのつながり
  - ①おもてなし会食（地域の方や調理員さんたちをお客様に迎えて日本の食文化を伝える。）
  - ②児童も教職員も「給食室体験」を行うことで作り手の思いを共有でき、給食室の様子VTRの放映を重ねることで、距離が近づき、理解を深める。
- ・食材とのつながり
  - ①食べるまでのプロセスを伝える「給食室からこんにちは」で、児童の知識は生活に生きる力となり、日々の食事への関心が高まる。
  - ②皮むき体験やPTA・地域の方の協力のもと整備しているスカイファーム（屋上菜園）で働くことの意味を深める。
- ・地域とのつながり
  - ①給食試食会の開催及びレシピの発行で家庭の給食への理解が深まり、啓発になる。
  - ②「教科とも連携した系統的・横断的な食教育の授業」の集大成が「児童（6年生）が考えた給食献立」。その取組を通して児童は自分事として主体的になり、保護者には啓発になる。



